

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	海川 敏雄	会員番号:	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 229
分水嶺区分:	H2195 410m地点～H219 465.3～H2185P481	(3)山行日:	2006年	3月	25日	(4)天候:	晴れ後曇り

(5)参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
海川敏雄	10981			横内泰美	10687		
片岡次雄	12093			丹保勝也	厚沢部町		
計				計			
2名				2名			

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: 道道R29・厚沢部町富里から6.5km入った地点 (410地点 H219 465.3 P436 P486 P481)を往復
 アプローチ: 函館 R227 厚沢部町富里 道道R29

地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	モービル駐車地点	富里	140	25	45.7	41	51	4.1	140	7:25			
分水嶺到達点H2195	410m地点	富里	140	26	49.7	41	51	25.2	417	8:45	8:50	B-4 (9)	
H219	465.3	桂岳	140	27	23.2	41	51	46.5	468	9:35	9:40	B-4 (9)	
	P436	富里	140	27	43.4	41	52	7.0	427	10:10	10:15	B-4 (9)	
	P490地点	富里	140	27	53.8	41	52	31.2	497	10:45	11:05	B-4 (9)	
	P486	富里	140	27	58.9	41	53	16.6	482	11:45	11:50	B-4 (9)	
H2185	P481	富里	140	28	18.4	41	53	38.7	485	12:35	12:45	B-4 (9)	
	(ここから引き返す)												
分水嶺離別点	410m地点	富里	140	26	49.7	41	51	25.2	417	15:25	15:30	B-4 (9)	
歩行終了点	モービル駐車地点	富里	140	25	45.7	41	51	4.1	140	16:20			
総歩行時間(休憩時間を除く):												7時間55分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H219	465.3				積雪のため発見できなかった。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

特記すべきことなし。

(9)水および植生に関連した特記事項

樹木はブナが多く、他にタケカンバやシナノキも見られる。

(10)その他の特記事項

道道R29の、富里からおよそ6.5km入った地点までスノーモービルで運んでもらう。道がヘアピンカーブする手前の先日23日に帰着した地点から逆に、分水嶺を目指して登る。分水嶺410地点から 465.3を経て雷電山肩南のP481まで往復する。雪はまだ多く、頬を吹く風は冷たいが、時折射してくる陽光に春の訪れを感じる。分水嶺踏査も終盤を迎え、この地域が済むと、残りは「梯子岳南」の1ヶ所だけになる。心なしか足取りも軽く快調に距離を伸ばす。久しぶりに雷電山を眺めながら、昨年この辺りをグロッキー状態で歩いていた…時のことを、懐かしく思い出した。

--

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
